

助成活動実績報告書

企画名	瀬戸内海のいきものとアマモが育てる環境学習
団体名	生活協同組合おかやまコープ岡山東エリア
<p>①活動の目的について</p> <p>これまで、里海づくりの取り組みとして、アマモの種とり、種選別、種まきなどへ参加し、藻場再生活動を体験し、その重要性について学習してきましたが、さらにその輪を広げ、より多くの方、子どもたちに身近な海のいきものや自然環境、漁業、魚食の大切さを伝える取り組みとして開催しました。</p> <p>②内容について 開催日：8月26日(金) 参加人数：25名(参加者22名+講師3名)</p> <p>①おかやまコープの藻場(アマモ)を再生する取り組みをDVDで紹介しました。(バス移動中)</p> <p>②岡山県農林水産総合センター水産研究所では、アマモや瀬戸内海の生き物について学習しました。牛窓ちりめんと一緒に漁獲された小さな魚・エビ・タコなどをさがし、瀬戸内海にいる生き物を観察しました。センターで飼育しているオコゼ・エビの稚魚の水槽を見学しました。</p> <p>③西脇海岸の浜辺観察(干潟など)では、実際に生きている生き物をさがし観察しました。 カニ・エビ・シャコ・貝などを観察することができました。</p> <p>③この活動によって達成された成果</p> <p>アンケートに寄せられた参加者の感想からもわかるように、アマモが豊かな海に役立っていることがわかりました。里海を守るおかやまコープの取り組みも紹介できて身近な海にもたくさんの生き物があることを実感していただくことができました。</p> <p>1.アマモのこと (わかった…15・わからなかった…1・もっと知りたい…2)</p> <p>2.ちりモンのこと (わかった…12・わからなかった…0・もっと知りたい…5)</p> <p>3.海辺観察のこと (いきもの観察が できた…16・できなかった…0)</p> <p>○アマモの学習 鮎が鮭と同様に川→海→川と移動することは知りませんでした。/アマモが小さな命を育てて岡山の海は素敵だなと思います。</p> <p>○施設見学 たくさんの水槽で季節ごとに違った魚を育てていることがわかった。/大切に育てられたお魚の赤ちゃんやエビ…海にもどすと生き残れるのは1割。/その一部をいただいているんだなあ…感謝していただきたいです。</p> <p>○海辺観察 カニをたくさんつかまえた。もう一度あったらいいな!/いろんな種類のいきものが見ているだけでも楽しかった。/浜辺で小さな生き物が動いているのを観察できて楽しかった。かわいかった♪/こういう機会がなくては、生き物をしっかり見ることはないのではよかったです。</p> <p>○ちりめんモンスター ちりめんの中に色々な魚がいることがわかり、選別して売られている事がわかりました。/自由研究にできそう。/ちりめん以外の生き物が何なのか良くわかりました。/こんなにたくさんの種類があるとわかって嬉しい。</p> <p>④今後の計画・展望について</p> <p>岡山東エリアは、瀬戸内海に面しているのでアマモのことを身近に感じてもらう親子で体験・学習できる場を持つことで里海づくりに関心をもってもらえるような企画を続けていけたらと思います。今回は、対象を小学3年生以上にしましたが、日程(夏休みの前半での開催)や参加対象の設定、年齢によって内容を変えるなど工夫して、多くの方に参加していただけるようにできたらいいなと思いました。</p>	

⑤写真等参考資料添付



岡山県農林水産総合センター水産研究所では、アマモや瀬戸内海の生き物について学習しました。



牛窓ちりめんと一緒に漁獲された小さな魚・エビ・タコなどをさがし、瀬戸内海にいる生き物を観察しました。ヨウジウオ・タチウオ・タツノオトシゴなどたくさん発見できて大人も子どもも楽しめました。



センターで飼育しているオコゼ・エビの稚魚の水槽を見学しました。3 cm ぐらいのオコゼ・小さなヨシエビがいました。



西脇海岸の浜辺観察(干潟など)では、実際に生きている生き物をさがし観察しました。カニ・エビ・シャコ・貝などを観察することができました。

